

地域	団体名
置賜	早坂山あるき隊



事業項目	やまがた緑環境税活用事業 ③森や自然とのふれあい活動
活動地	米沢市万世町 早坂山

団体紹介

米沢市東部の万世町を通る東北中央自動車道の八幡原IC南に2等三角点のある早坂山が対象。里山の自然の素晴らしさを共有したい、坂を歩いて健康増進も図ろうと令和1年に結成。当初は散策路がなく、道の開拓整備から活動した。多数の地権者を探して理解を得ることから始め、2019(令1)年には山の西側、2020(令2)年に東側を整備。地名標識や分岐点の方向標識を設置。

令和4年度は前年に続き植物名の表示を設置して、歩きながら自然への親しみと知識を得られる標識整備に注力した。また、迷いやすい分岐の表示も追加した。過去に設置した看板標識が熊により相次ぐ破損が発生したため、木製看板を鉄板、鉄杭、ラミネート表示に変更して、破損の様子を見ている。

令和3年に森づくり活動の助成事業を開始。早坂山あるき隊のメンバーは13人。年2回のハイキングを万世コミュニティセンターと共催。地権者がいる山を活用する特殊な活動。

活動内容

自然観察会	一般	スタッフ	
4/23 カタクリ観察	6	5	雪が遅くまで残る年のため、実施日設定に苦慮した。陽当たり良い鉄塔下のカタクリ原はピークを過ぎていたが、それまで認識されてなかった北斜面に一面に咲くカタクリを発見。斜面環境と植生の違いを実感できた。
5/15 南西麓の鷲城周辺	10	6	新たに整備が進む山城跡を見回り、新緑のハリギリやブナや三叉のナラの巨木等を紹介した。
7/3 夏山の植物	2	6	植物名標識の設置しながら、延期した6月分の観察会も実施。イチヤクソウやバイカツツジなど稀な花の観察もできた。
10/3 樹種調査	0	5	樹種名の詳細調査を講師と共に実施。
11/6 紅葉の山あるき	32	8	紅葉の絶景とコミセン共催による芋煮の魅力もあり、年々参加数が増大。今年も天気恵まれ樹種による紅葉の色の違いを観察できた。今年も下り2時間の長いコースを選択する人が多かった。事後のアンケートでも大好評。
	計	30	



11/6紅葉ハイキングの一般参加者へのアンケート結果のグラフ



山道整備：草刈、倒木処理

スタッフ	
6/2 巡視	1
6/4 草刈	9
6/24 巡視	1
7/17 草刈	6
9/11 草刈	7
9/18 草刈	7
9/19 草刈	5
11/2 巡視	1
計	37

前年度は冬期初期の湿雪で倒木が多く発生したため、今年度の倒木は意外に少なかった。一般路の跨げない倒木のみを処理した。真横に倒れた木を切断の瞬間に太根が立ち上がるヒヤリが発生した。

夏～秋の気温が高く、草の成長が異常であり、草刈の日程や場所を検討した。葛の繁茂がひどい場所について、9/18,19の2日に分けて徹底的な除草と初の除草剤塗布を行った。効果把握を次年度に行ない、今後の策を検討したい。



方向標識、植物名札、展望図、コース図設置

スタッフ	
5/7	2
6/26	2
7/3	6
11/3	5
11/5	5
計	20



参考情報：その他機関による取組

- 6/2 米沢警察署に新設された山岳救助隊による救難訓練が行われた。
- 7/4 市の公園課により萬歳の松公園に仮設トイレが設置された。
- 8/23 登山アプリのYAMAPIに早坂山のコースが紹介されていた。

YAMAPIによる山行記録公開分	
4月	4
5月	7
6月	3
7月	2
8月	3
9月	2
10月	5
11月	11
12月	5

以上のように、早坂山の存在が広く知られるようになり、利用しやすい環境が整ってきた。

活動を行っての感想

◇当グループでの山道整備の処理内容を地権者に伝え活動を共有できる機会を作りたい。→文化祭にR3年度活動報告ポスターを展示	◆クマ被害の出ない標識用木について知りたい。防腐剤を塗った木材を使ったが、完全に破壊されてしまった。今年度は金属製に変えて効果を判	◇子供たちを山に連れていく当初の狙いが実現していないが、R5年度に小学校の校外学習として実現の見込み。	◇倒木処理のヒヤリが昨年に続き発生した。作業安全には経験の蓄積と十分な検討を続ける必要があると再認識した。
●参加募集を素人が行うと負担が大きい上に効果が低い。結果広報不足の反省。代理で広報連携する支援欲しい。→森づくり活動の広報マンを森林整備課等に置き利用でき	●雪が消えて、葉が広がる時期こそいろいろ作業や観察会をする適期であるのに、助成金を使う企画が4月に行えないのは、非常に苦しい。→4月に行う企画へのルール見直しをお願いしたい。当初	●森づくり活動を行うボランティアへ謝礼を出さない予算制約は活動が活発にならない。無償ボランティアは継続性が弱く、謝礼を出したい。→緑環境税活用のルールの見直し希望。	◆大勢参加時には細道で列が伸びるので講師の説明が届かない。拡声器で声は聞こえても説明物が見えない。説明内容の記録も困難で今後の課題。